

Newsletter



日本教育情報学会
JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

No.21

1989. 3. 24

=====
事務局：〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15 産業能率大学企画部内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel 03-724-8993
=====

第5回 日本教育情報学会年会 —— 研究発表者募集中 ——

1989年度も教育情報連合研究発表大会を、8月に開催いたします。正会員各位の積極的な研究発表を期待しています。

原則として、応募資格は専門会員であることとします。一般会員の方で応募されたい場合は専門会員の推薦が必要となります。ただし推薦のない場合でも、応募くだされば、しかるべき専門会員の方に審査いただくよう運営委員会が手配いたします。

【期 日】 1989年8月21日（月）、22日（火）、23日（水）

【会 場】 大阪市内

【問い合わせ・発表申し込み先】

〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15

産能大学 企画本部内 日本教育情報学会

Tel 03-724-8993

【応募資格】 正会員（専門会員及び専門会員の推薦を受けた一般会員）

*現在入会されていない方でも、研究発表大会当日までに入会の手続きをいただければ、応募資格を有するものとします。

【申し込み 締切】 1989年6月20日（火） 必着

【論文原稿 締切】 1989年7月17日（月） 必着

【応募方法】 同封の研究発表申込書に必要事項をお書きのうえ、上記、事務局までお送りください。ご応募いただいた方には、折り返し論文の書式をご連絡いたします。

〔講習会〕

学習指導用ソフトウェアツールセミナー

コンピュータについての専門的な知識がない場合でも、学習指導でコンピュータの活用を可能にするために、オーサリングシステム、表計算、グラフ作成、データベースなどの学習用ソフトウェアツールが開発されています。

このセミナーでは、これらの目的で開発された自作ツールを示しながら、その必要とされる機能や活用場面を考えていきます。具体的には、次の2種類のツールを扱います。

(1) FCAIシステム

フレーム型CAIのコースウェアを実行するFCAIシステムの概要と今後の展望を、事例を示しながら解説します。特にFCAIの特徴となっている、使い慣れたワープロによるコースウェアの開発手法や、コースウェアの互換性は、プリント教材などコースウェア作成以外の目的で自作した教材の有効活用と、ワープロが扱える教育関係者なら機種を問わずにコースウェアを自作したり、修正して利用できるという利点があります。このセミナーではコースウェアの作成から実行までを実演しながらFCAIの特徴や他のアプリケーションで作成したデータを利用する方法や最近改訂した内容を解説していきます。

(2) 学習指導用ツール

学習システム研究会が作成した学習指導用ツール（小学校から高校まで、児童生徒が学習活動の道具として利用できるように配慮されている4つの独立したソフト）の機能とその利用法を実演しながら解説します。

- ① 図形作成 紙に鉛筆と定規で図を描くのと同様に、コンピュータの画面にマウスをつかって機能を選択しながら図や文字や絵を描いていくためのツールです。
- ② グラフ作成ソフト 棒グラフ、円グラフ散布図、レーダーチャートなど、グラフの特性を理解したり、実際に数値を入力して確認することができます。
- ③ 表計算ソフト 小学校の児童でも容易に表に数値を記入したり、合計や平均を求めたり、簡単なグラフで表したいときに利用するソフトです。機能よりも表として考えやすく、操作性を重視したソフトになっています。
- ④ NIRS-1 データベースソフト このソフトを用いて、授業で利用するデータベースを比較的簡単な操作で作成したり、それを検索することができます。

主催 : 日本教育情報学会
後援 : 勤学習ソフトウェア情報研究センター
会場 : 東京・池袋サンシャインシティ 国際会議室
日時 : 1989年4月22日(土) 10:00~16:15
定員 : 80名
参加費 : 会員 9,000円 非会員 10,000円
(テキストおよびFCAIフロッピーを含む)

【プログラム】

- 10:00 「FCAIとその内容」 堀口 秀嗣 (国立教育研究所)
①考え方と記述形式
②コースウェア作成から実行まで
③改訂内容と今後の展開
- 12:30 昼食
- 13:00 「学校教育用ツールとその内容」
村瀬康一郎 (岐阜大学)
①NIRS情報検索サブシステム
②図形作成
③グラフ作成
④表計算
- 14:40 休憩
- 15:00 FCAIと学校教育用ツールの総括
- 16:15 終了予定

*ご希望の機種用FCAIシステム(フロッピー1枚)を提供いたします。(日本電気PC-9801シリーズ, 日本IBM PS 55シリーズ, 富士通FM-16 β , FM-Rシリーズ, 松下Panacom Mシリーズ, 東芝PASOPIA 1600, J3100シリーズ, 日立B16, 三菱Multi16, シャープMZ-2800で利用できます。)

【お申し込み・問い合わせ】

参加ご希望の方は, 官製はがきに講習会参加申し込みと住所, 氏名, 勤務先, 連絡先, 使用機種名をご記入のうえ下記事務局までお送りください。

〒158 東京都世田谷区等々力 6-39-15

(株)産能大学 企画本部内 日本教育情報学会

TEL 03-724-8993

≡≡≡ 教育メディアシンポジウム' 89 ≡≡≡

主催 : (株)産能大学 日本教育情報学会
後援 : 日本経済新聞社
期日 : 1989年4月20日(木) 10:20~16:40
会場 : 東京・池袋サンシャインシティ プリンズホテル 天覧の間
参加費 : 会員 20,000円 非会員 25,000円
定員 : 200名
申込先 : ☎158 東京都目黒区自由が丘2-10-16 栗山ビル
産能大学 企画本部 Tel. 03-724-9122

【プログラム】 (敬称略)

- 10:30 基調講演 「衛星通信は経営と教育をどう変えるのか」
産能短期大学教授 小林 薫
(ゲストスピーカー) 経営ジャーナリスト 生方 幸夫
- 11:20 事例発表①「コンピュータ技術者教育に効果を上げる
衛星通信研修ネットワーク「ISEN」」
日本アイ・ビー・エム(株) 研修支援部
副部長 天野 量介
- 12:10 昼食 C A I & 教育メディアショー'89 見学
- 13:00 事例発表②「衛星利用で“ふるさと創生ネットワーク”をめざす
郵政省の“ふるさット構想”」
郵政省 放送行政局CATV技術開発室
室長補佐 笹川 信義
- 14:20 事例発表③「受講生に大好評の通信衛星によるサテライト講座の
現状と未来」
(株)河合塾 サテライト教育事業部長 荒田 和彦
- 15:10 コーヒー・ブレイク
- 15:30 事例発表④「衛星時代の教育ネットワーキングと新しい教育方法」
日本電気工業技術短期大学 校長 佐藤 隆博
- 16:20 総括講演 産能短期大学教授 小林 薫
- 16:40 終了予定